

# 事業用軽貨物自動車の事故の特徴

---

## ○背景事情

- ・電子商取引(EC)市場規模の拡大に伴い、トラックの宅配便の取扱個数は平成28年度から令和3年度の5年間で約9億個(22.7%)増加。
- ・これに伴い、軽貨物自動車の保有台数も5年間で約6.9万台(31.4%)増加。

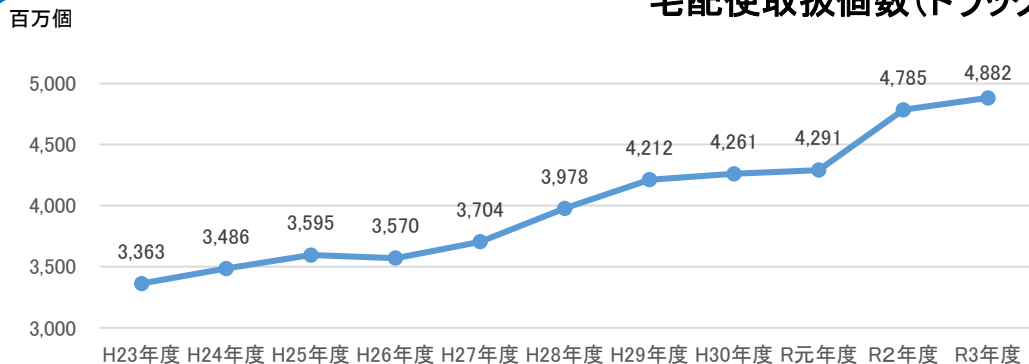
## ○事業用軽貨物自動車の事故※の特徴(詳細は次ページ以降)

- ・事業用貨物自動車のうち、軽貨物の事故件数は平成28年以降増加傾向である一方、軽貨物以外は減少傾向。
- ・軽貨物は軽貨物以外と比較して、「人との事故」の件数の割合が大きい。
- ・軽貨物は「追突」、「出会い頭衝突」の事故件数が多い。
- ・軽貨物は法令違反のうち「安全不確認」による事故の件数が一番多い。
- ・軽貨物の事故は他の車種と比べて20歳代の割合が大きい。

※事業用軽貨物自動車が第一当事者である人身事故、次ページ以降も同じ。

- トラックによる宅配便の取扱個数は年々増加傾向。
- 事業用貨物自動車の保有台数は、軽貨物、軽貨物以外ともに増加傾向であるが、軽貨物の方が大幅に増加傾向。

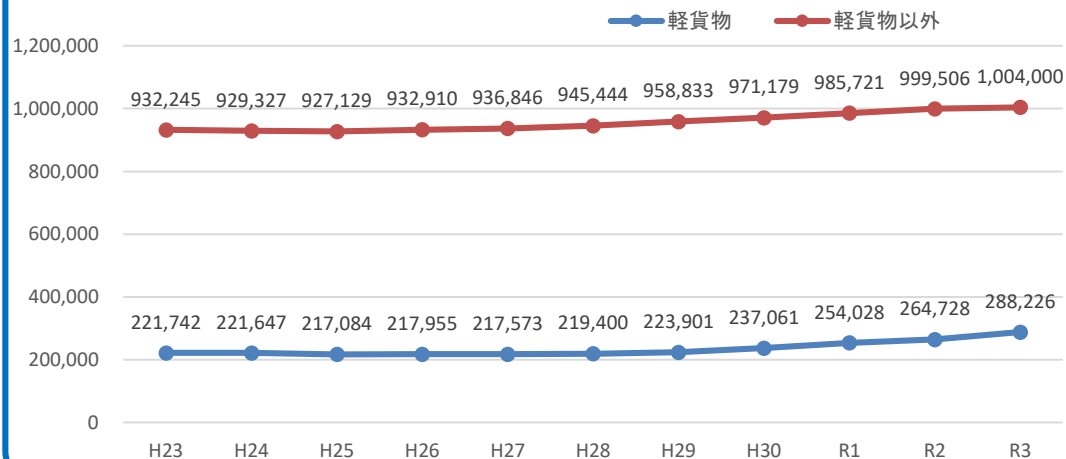
## 宅配便取扱個数(トラック)の推移



平成28年度	令和3年度	平成28年度→ 令和3年度
3,978	4,882	22.7%増

出典：国土交通省「宅配便取扱実績」

## 事業用貨物自動車の保有台数の推移



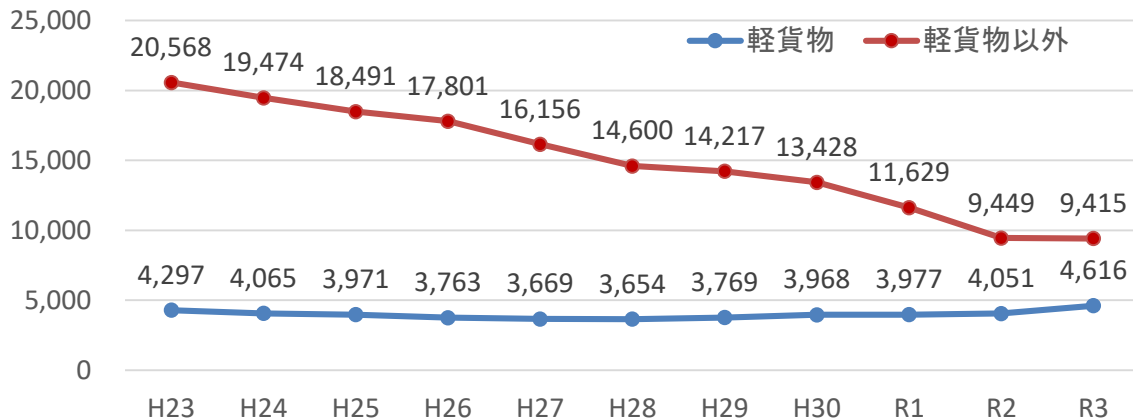
	平成28年	令和3年	平成28年→ 令和3年
軽貨物	219,400	288,226	31.4%増
軽貨物以外	945,444	1,004,000	6.2%増

出典：(一財)自動車検査登録情報協会「自動車保有台数」

# 事業用貨物自動車の事故件数の推移

○ 事業用貨物自動車のうち、軽貨物の事故件数は平成28年以降増加傾向である一方、軽貨物以外は減少傾向。

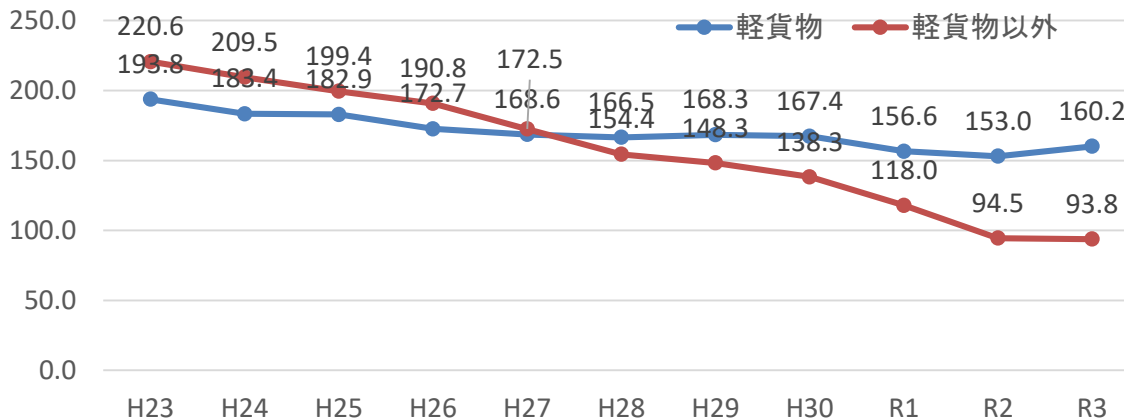
## 事業用貨物自動車の事故件数の推移



	平成28年	令和3年	平成28年→令和3年
軽貨物	3,654	4,616	26.3%増
軽貨物以外	14,600	9,415	35.5%減

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

## 保有台数1万台当たりの事業用貨物自動車の事故件数の推移



	平成28年	令和3年	平成28年→令和3年
軽貨物	166.5	160.2	3.8%減
軽貨物以外	154.4	93.8	39.3%減

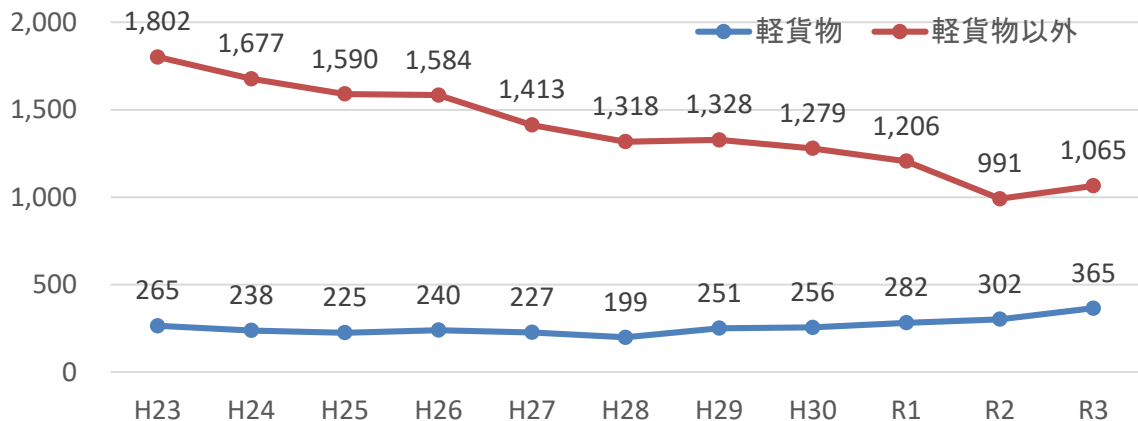
出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
(一財)自動車検査登録情報協会「自動車保有台数」

車両保有台数データ：各年3月末時点(次ページ以降同じ)

# 事業用貨物自動車の死亡・重傷事故件数の推移

○ 事業用貨物自動車のうち、軽貨物の死亡・重傷事故件数は平成28年以降増加傾向である一方、軽貨物以外は減少傾向。

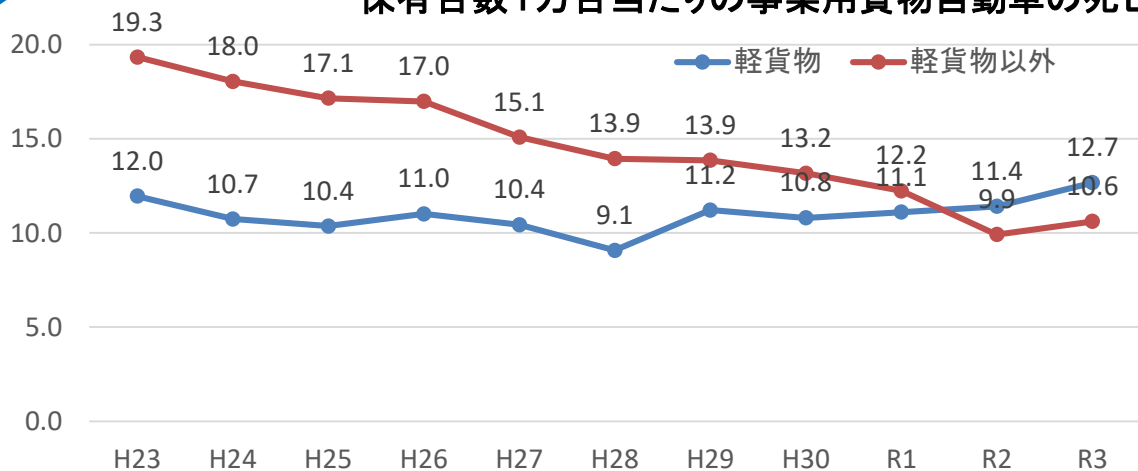
## 事業用貨物自動車の死亡・重傷事故件数の推移



	平成28年	令和3年	平成28年→ 令和3年
軽貨物	199	365	83.4%増
軽貨物以外	1,318	1,065	19.2%減

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

## 保有台数1万台当たりの事業用貨物自動車の死亡・重傷事故件数の推移



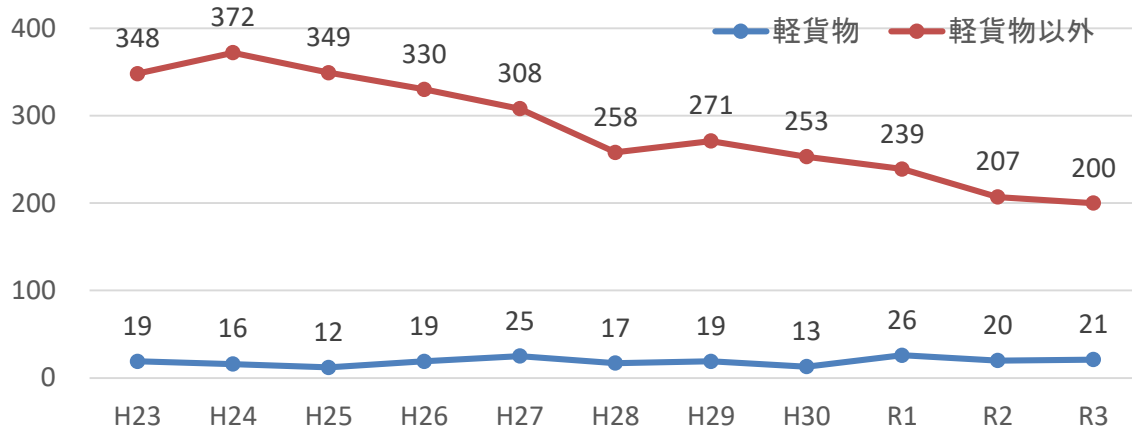
	平成28年	令和3年	平成28年→ 令和3年
軽貨物	9.1	12.7	39.6%増
軽貨物以外	13.9	10.6	23.9%減

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
(一財)自動車検査登録情報協会「自動車保有台数」

# 事業用貨物自動車の死亡事故件数の推移

○ 事業用貨物自動車のうち、軽貨物の死亡事故件数は近年横ばい傾向である一方、軽貨物以外は減少傾向。

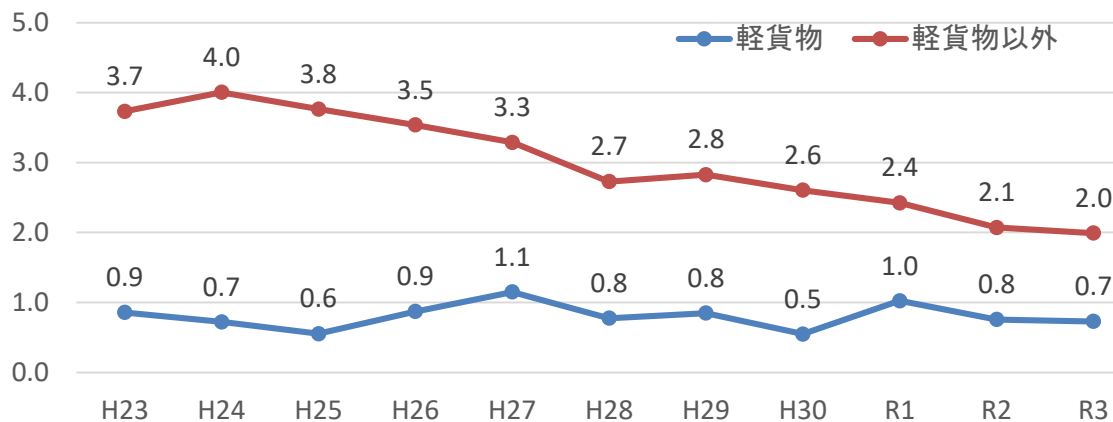
## 事業用貨物自動車の死亡事故件数の推移



	平成28年	令和3年	平成28年→ 令和3年
軽貨物	17	21	23.5%増
軽貨物以外	258	200	22.5%減

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

## 保有台数1万台当たりの事業用貨物自動車の死亡事故件数の推移



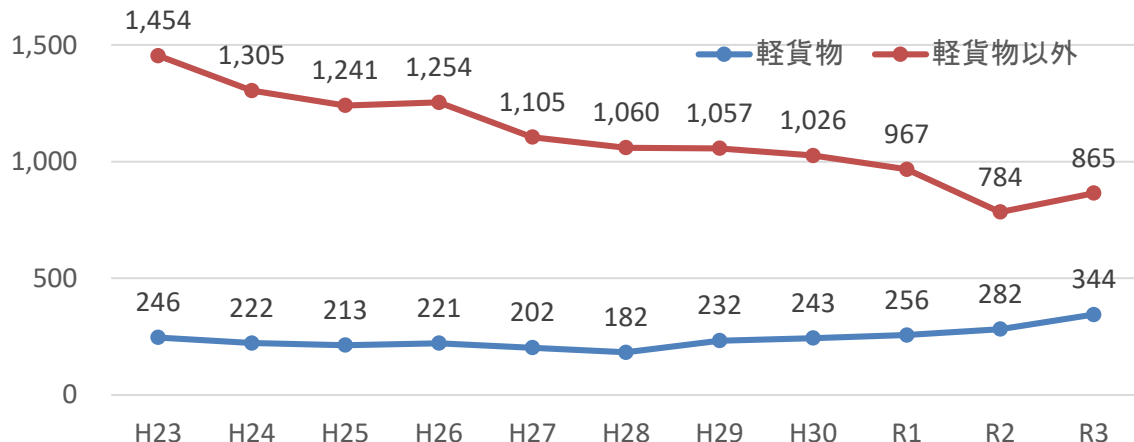
	平成28年	令和3年	平成28年→ 令和3年
軽貨物	0.8	0.7	6.0%減
軽貨物以外	2.7	2.0	27.0%減

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
(一財)自動車検査登録情報協会「自動車保有台数」

# 事業用貨物自動車の重傷事故件数の推移

○ 事業用貨物自動車のうち、軽貨物の重傷事故件数は平成28年以降増加傾向である一方、軽貨物以外は減少傾向。

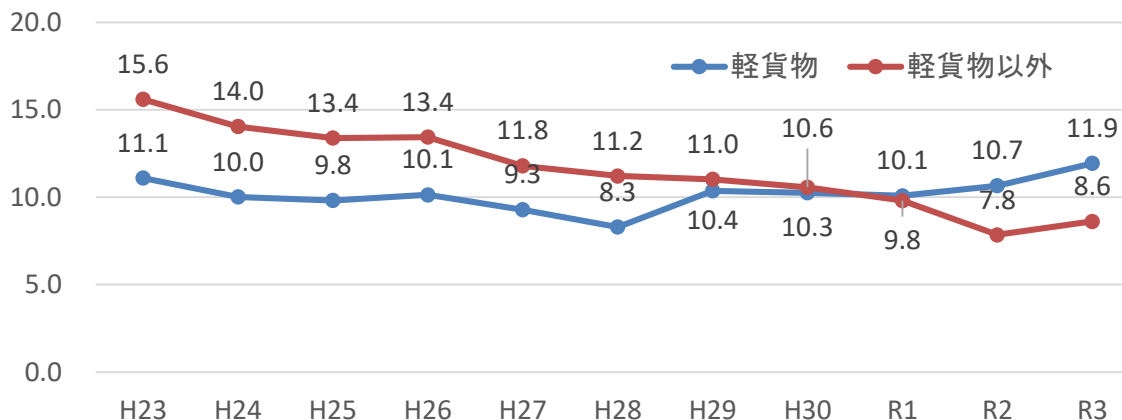
## 事業用貨物自動車の重傷事故件数の推移



	平成28年	令和3年	平成28年→ 令和3年
軽貨物	182	344	89.0%増
軽貨物以外	1,060	865	18.4%減

出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

## 保有台数1万台当たりの事業用貨物自動車の重傷事故件数の推移



	平成28年	令和3年	平成28年→ 令和3年
軽貨物	8.3	11.9	43.9%増
軽貨物以外	11.2	8.6	23.2%減

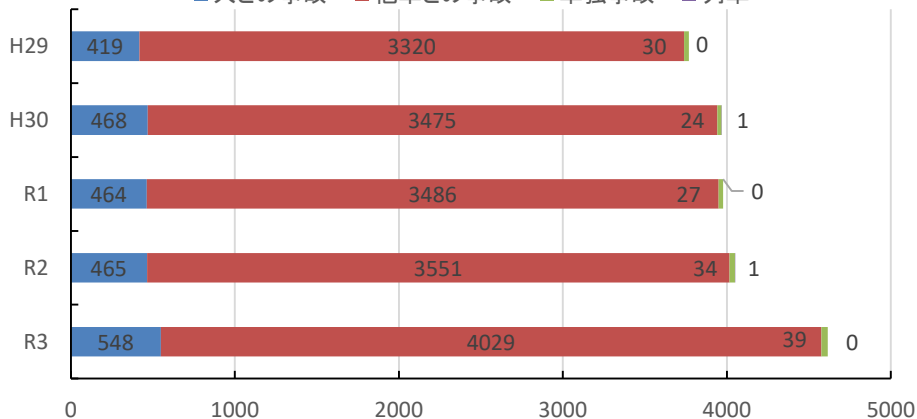
出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」  
(一財)自動車検査登録情報協会「自動車保有台数」

# 事業用貨物自動車の事故類型

- 事業用貨物自動車のうち、軽貨物は「人との事故」、「他車との事故」とともに増加傾向である一方、軽貨物以外は「人との事故」、「他車との事故」とともに減少傾向。特に、「他車との事故」が大幅に減少傾向。
- 軽貨物は軽貨物以外と比較して、「人との事故」の件数の割合が大きい。

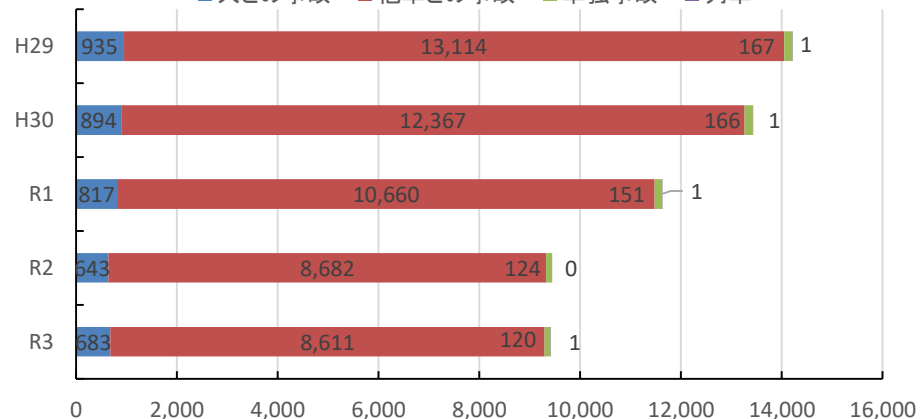
### 軽貨物の事故類型別事故件数の推移

■ 人との事故 ■ 他車との事故 ■ 単独事故 ■ 列車



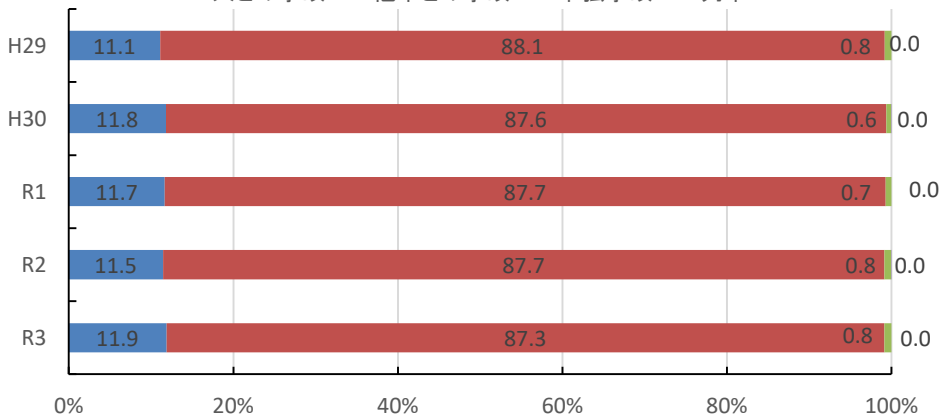
### 軽貨物以外の事故類型別事故件数の推移

■ 人との事故 ■ 他車との事故 ■ 単独事故 ■ 列車



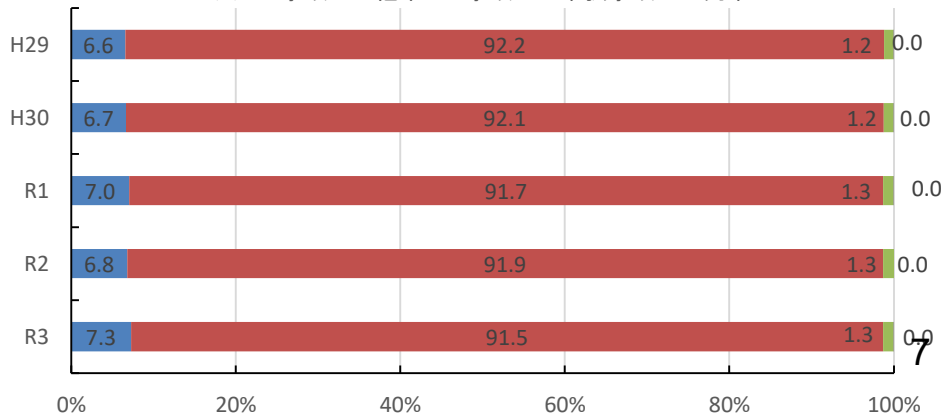
### 軽貨物の事故類型別事故割合の推移

■ 人との事故 ■ 他車との事故 ■ 単独事故 ■ 列車



### 軽貨物以外の事故類型別事故割合の推移

■ 人との事故 ■ 他車との事故 ■ 単独事故 ■ 列車



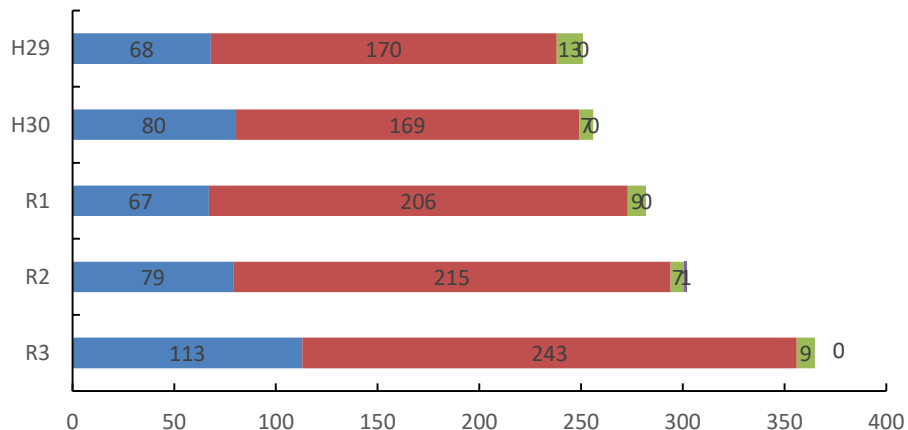


# 事業用貨物自動車の死亡・重傷事故類型

- 事業用貨物自動車のうち、軽貨物は「人との事故」及び「他車との事故」による死亡・重傷事故件数がともに増加傾向である一方、軽貨物以外は「人との事故」、「他車との事故」とともに減少傾向。特に、「他車との事故」が大幅に減少傾向。
- 軽貨物は軽貨物以外と比較して、「人との事故」による死亡・重傷事故割合が大きい。

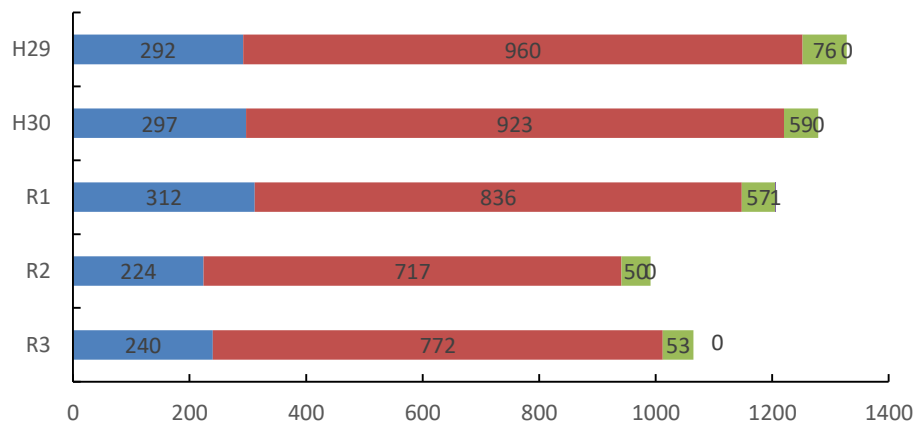
## 軽貨物の事故類型別死亡・重傷事故件数の推移

■ 人との事故 ■ 他車との事故 ■ 単独事故 ■ 列車



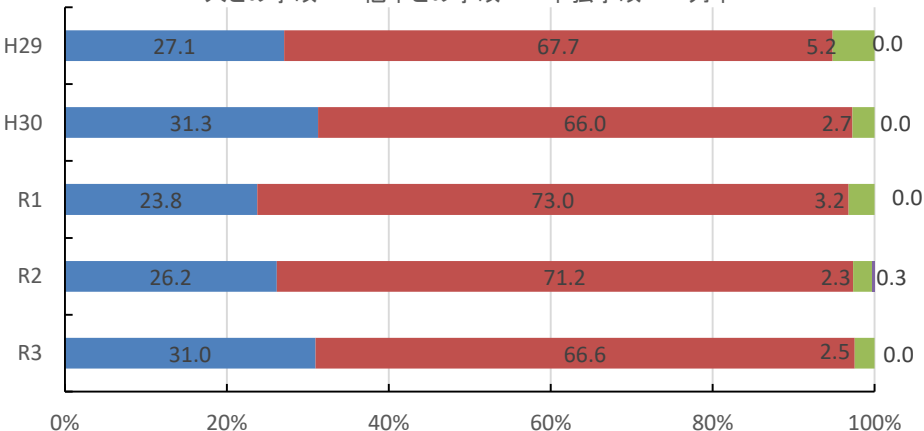
## 軽貨物以外の事故類型別死亡・重傷事故件数の推移

■ 人との事故 ■ 他車との事故 ■ 単独事故 ■ 列車



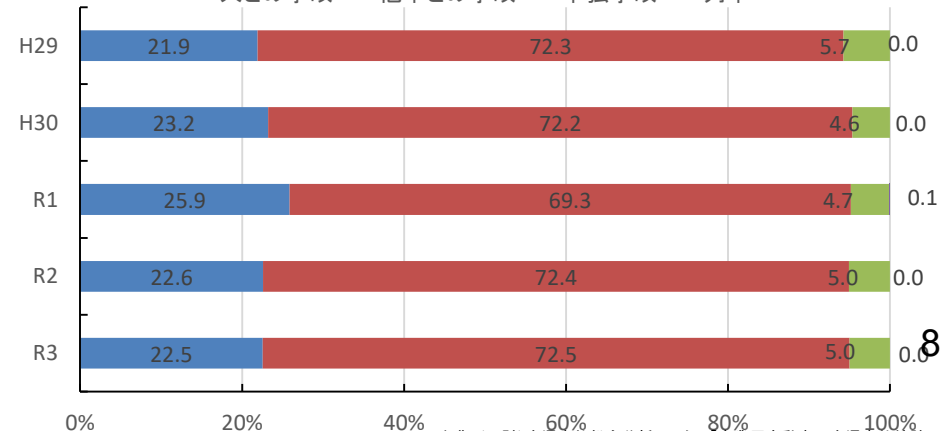
## 軽貨物の事故類型別死亡・重傷事故割合の推移

■ 人との事故 ■ 他車との事故 ■ 単独事故 ■ 列車



## 軽貨物以外の事故類型別死亡・重傷事故割合の推移

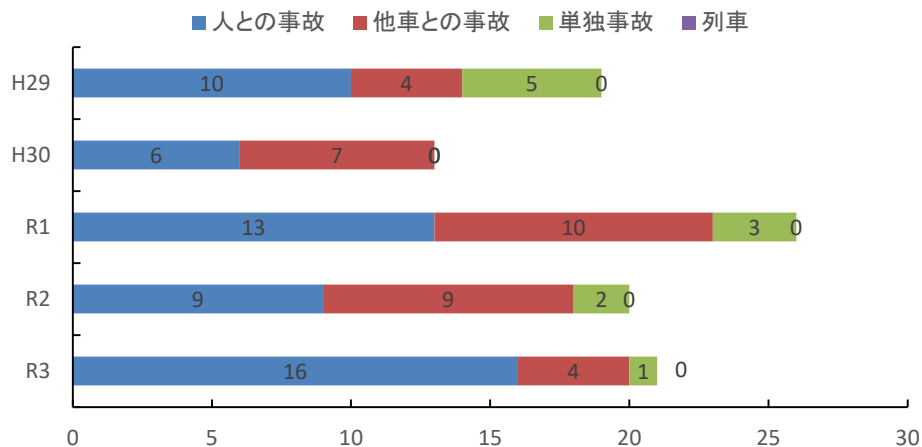
■ 人との事故 ■ 他車との事故 ■ 単独事故 ■ 列車



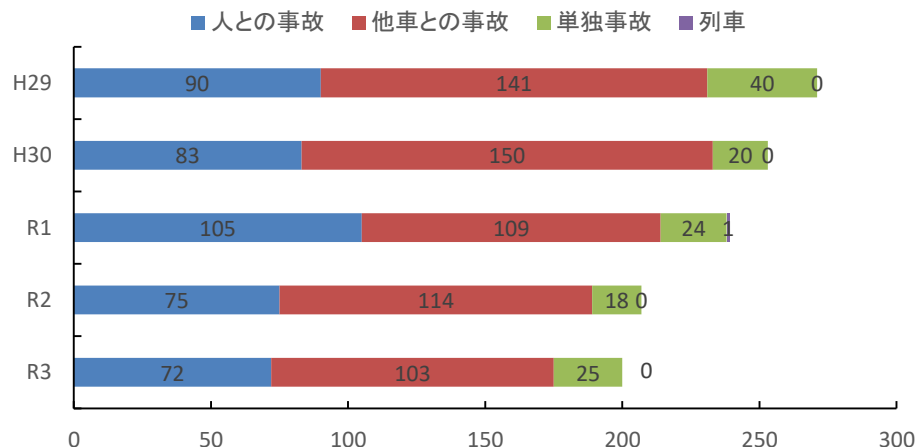
# 事業用貨物自動車の死亡事故類型

- 事業用貨物自動車のうち、軽貨物以外は「人との事故」、「他車との事故」による死亡事故件数がともに減少傾向。特に、「他車との事故」による死亡事故件数が大幅に減少傾向。
- 軽貨物は軽貨物以外と比較して、「人との事故」による死亡事故割合が大きい。

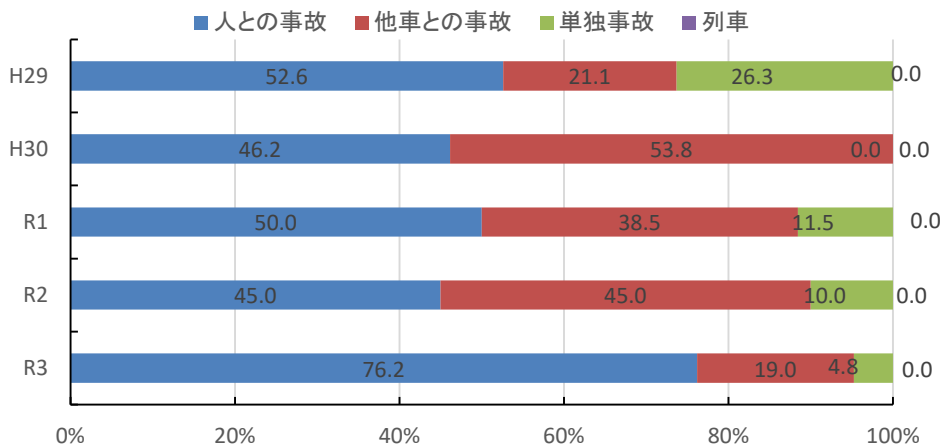
## 軽貨物の事故類型別死亡事故件数の推移



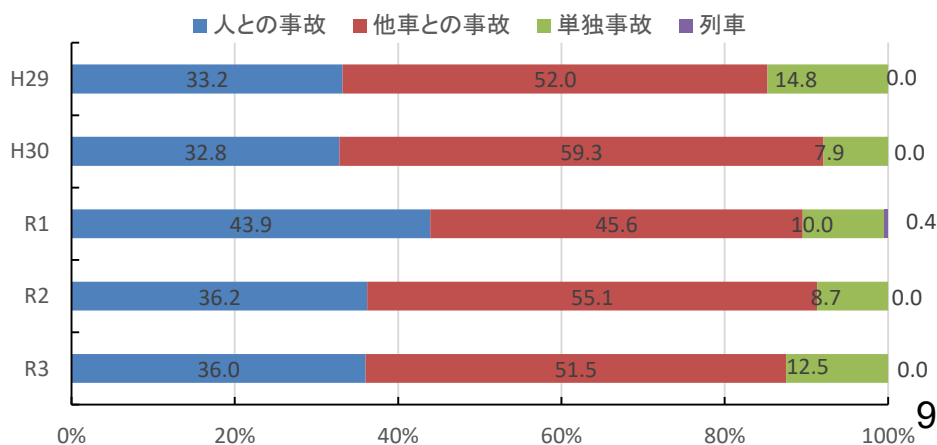
## 軽貨物以外の事故類型別死亡事故件数の推移



## 軽貨物の事故類型別死亡事故割合の推移



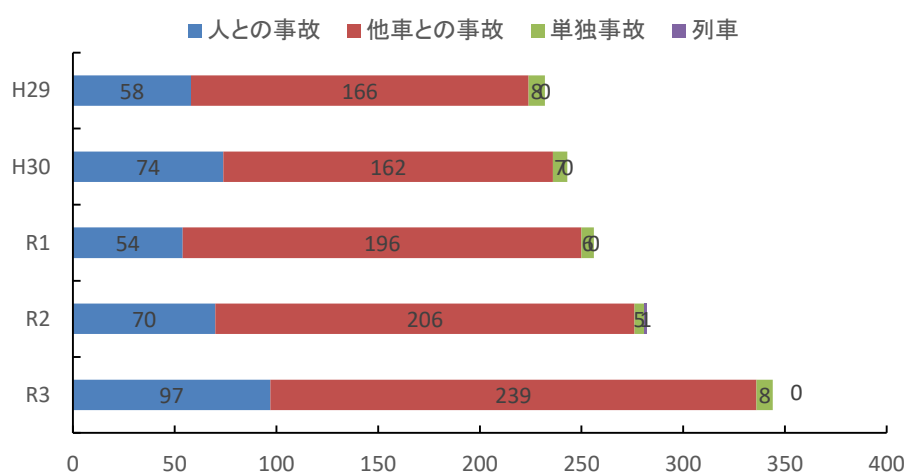
## 軽貨物以外の事故類型別死亡事故割合の推移



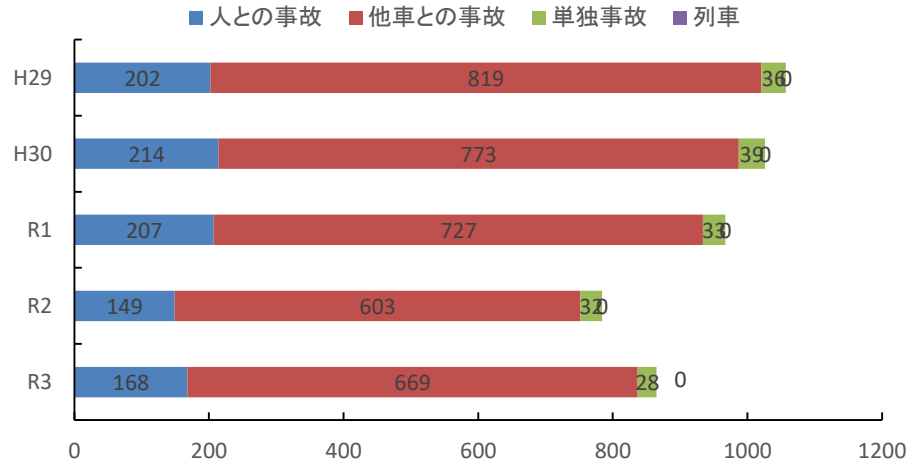
# 事業用貨物自動車の重傷事故類型

- 事業用貨物自動車のうち、軽貨物は「人との事故」及び「他車との事故」による重傷事故件数がともに増加傾向。
- 軽貨物は軽貨物以外と比較して、「人との事故」による重傷事故割合が大きい。

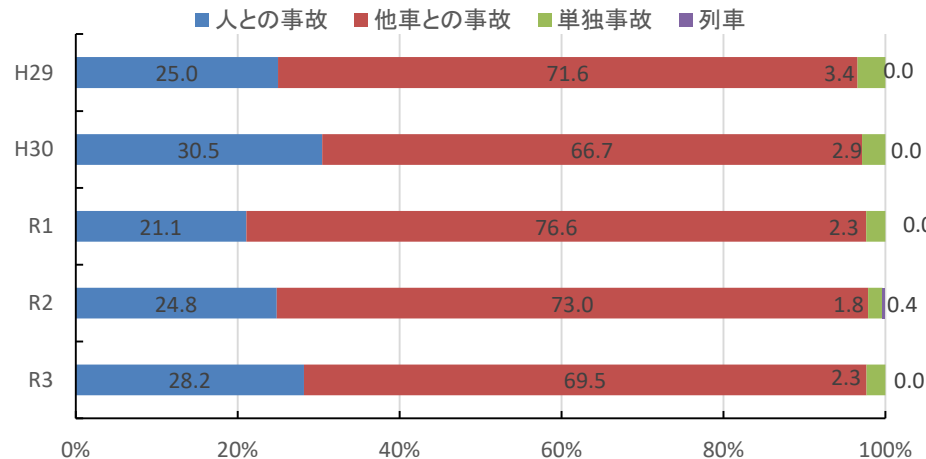
## 軽貨物の事故類型別重傷事故件数の推移



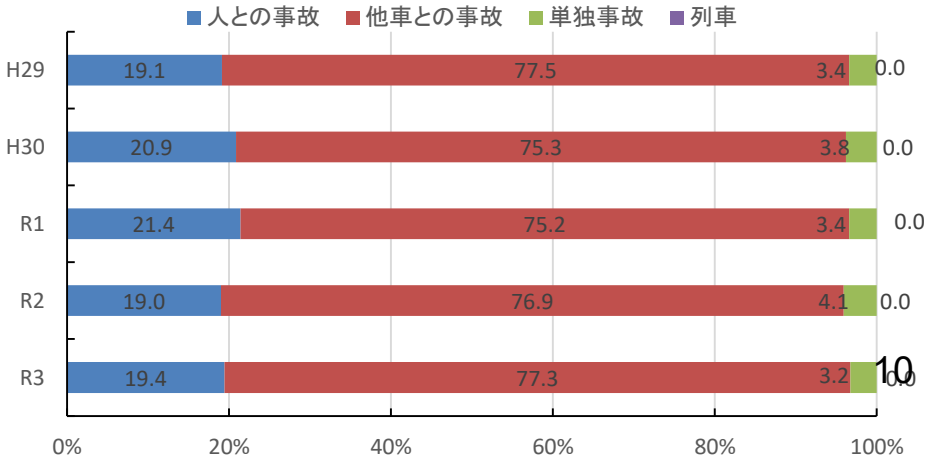
## 軽貨物以外の事故類型別重傷事故件数の推移



## 軽貨物の事故類型別重傷事故割合の推移



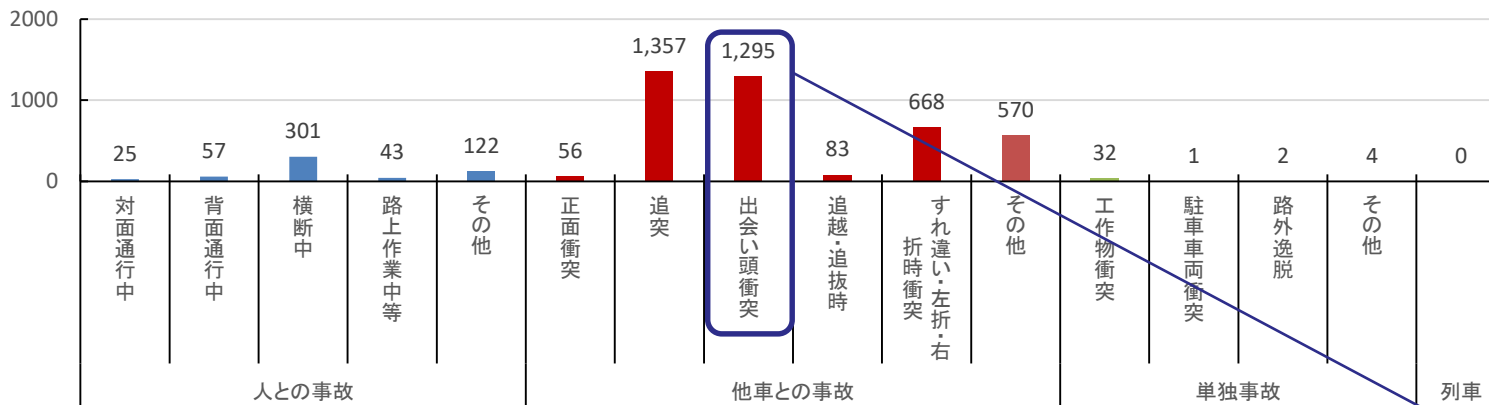
## 軽貨物以外の事故類型別重傷事故割合の推移



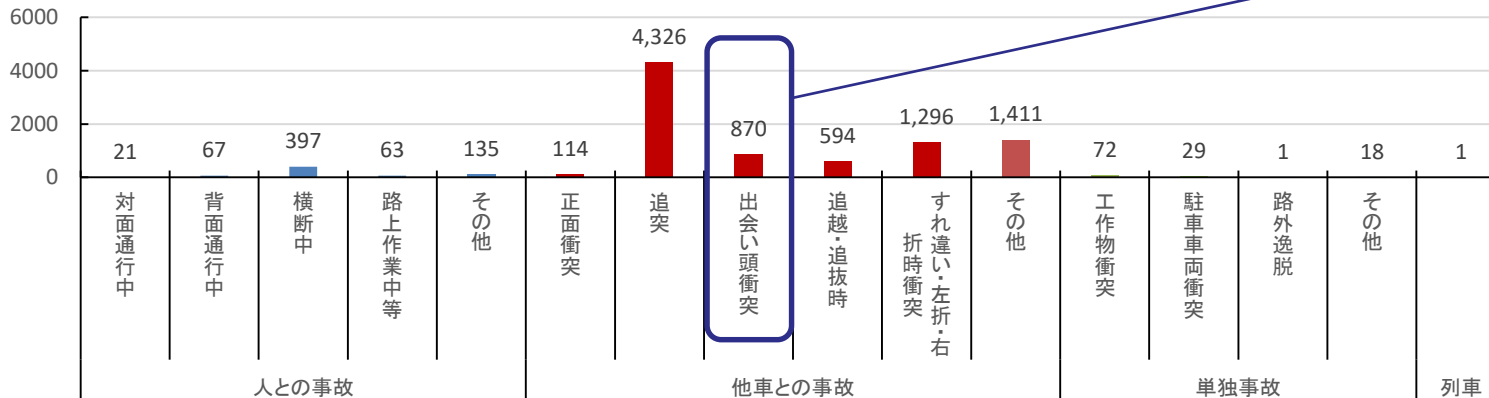
# 事業用貨物自動車の事故類型別事故件数の内訳

- 事業用貨物自動車のうち、軽貨物は「追突」、「出会い頭衝突」の事故件数が多く、軽貨物以外は「追突」の事故件数が多い。
- 保有台数1万台当たりの事故件数で軽貨物と軽貨物以外の「出会い頭衝突」を比較すると、軽貨物は約5.2倍多い。

## 軽貨物の事故類型別事故件数の内訳



## 軽貨物以外の事故類型別事故件数の内訳



保有台数1万台当たりの事故件数で比較すると、軽貨物が44.9件、軽貨物以外が8.7件と5.2倍

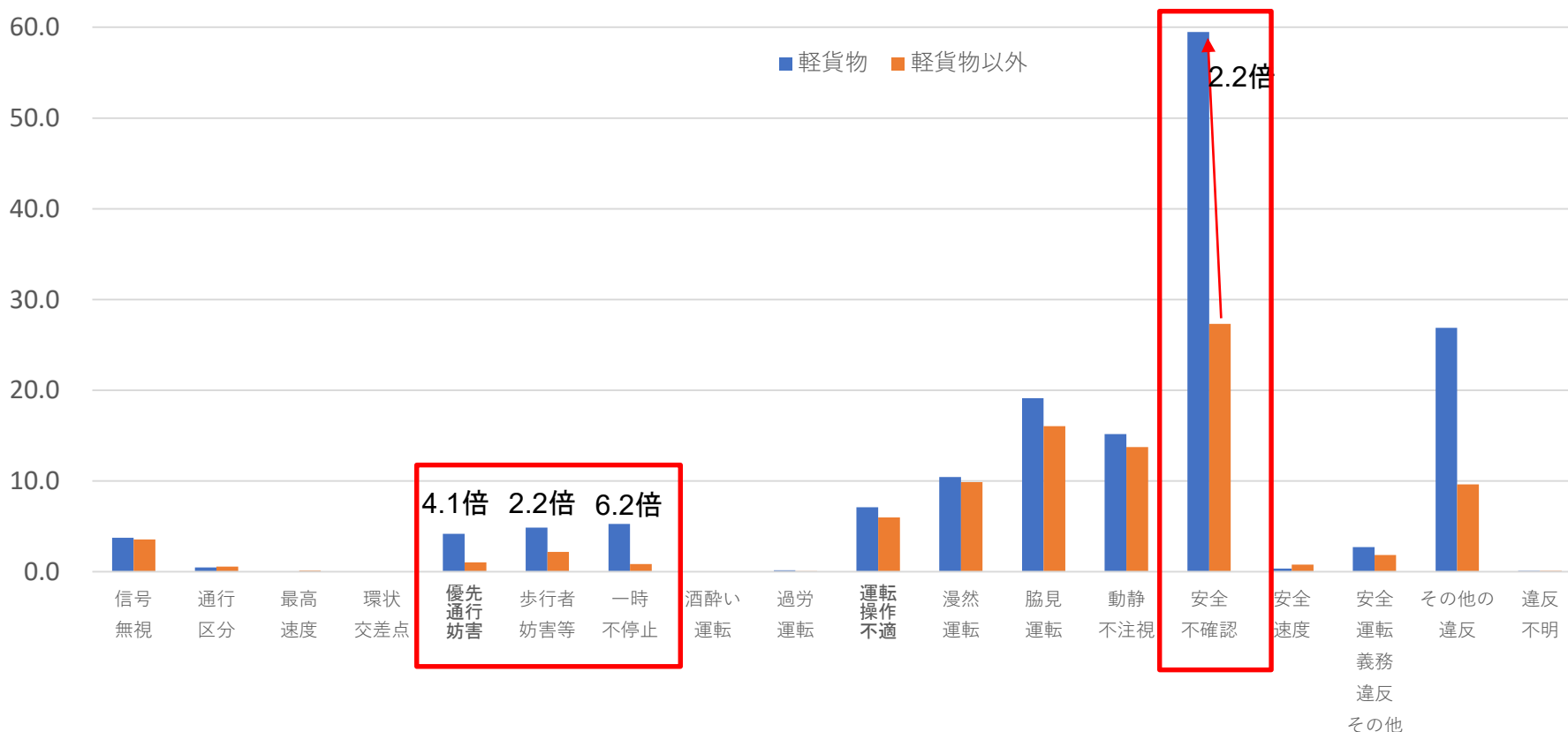
軽貨物は交差点における出会い頭の事故が多い

# 事業用貨物自動車の法令違反別事故件数

- 事業用貨物自動車のうち、軽貨物保有台数1万台当たりの法令別違反件数を見ると安全不確認※が最も多く、軽貨物以外の約2.2倍。
- 加えて、軽貨物は軽貨物以外と比較して、「優先通行妨害」、「歩行者妨害等」、「一時不停止」といった法令違反が多いことが特徴。

※ 前方、後方、左右の安全確認が不十分であった事故。

保有台数1万台当たりの法令違反別事故件数



# 車種別・年齢層別 事業用軽貨物事故件数割合

○事業用貨物自動車のうち、軽貨物の事故は、他の車種と比べて20歳代の割合が大きい。

## 車種別・年齢層別 事業用軽貨物事故件数割合

		16～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
自家用	バス	0.0	0.0	1.9	1.9	1.9	9.4	5.7	15.1	11.3	18.9	15.1	17.0	0.0	1.9	0.0
	マイクロバス	0.0	2.2	3.3	3.9	2.8	2.8	6.7	7.2	8.9	12.8	17.8	26.1	5.6	0.0	0.0
	普通乗用	2.5	9.7	8.2	7.3	8.0	8.7	10.1	9.1	7.4	6.5	6.4	7.5	4.7	2.8	1.2
	軽乗用	4.2	12.3	8.5	6.5	6.5	6.8	8.1	8.0	6.7	6.5	7.0	8.4	5.5	3.4	1.5
	大型貨物	0.0	2.5	4.2	5.3	5.8	9.1	13.4	17.4	14.4	9.8	8.3	7.4	2.0	0.6	0.0
	軽貨物	1.5	6.5	6.1	4.9	5.4	6.2	8.3	7.9	7.0	7.1	8.7	12.2	8.1	6.3	3.9
	その他（大型貨物、軽貨物以外）	1.3	8.6	9.8	8.5	8.9	10.2	12.4	11.0	8.4	7.3	5.6	5.1	1.8	0.8	0.2
事業用	バス	0.0	1.6	3.9	6.6	6.4	10.5	16.9	20.2	17.7	11.2	4.2	0.7	0.1	0.0	0.0
	マイクロバス	0.0	0.0	0.0	2.1	8.5	6.4	10.6	14.9	17.0	8.5	12.8	14.9	2.1	2.1	0.0
	普通乗用	0.0	1.1	1.3	1.4	2.1	2.5	5.3	8.5	11.6	15.5	18.2	22.7	8.2	1.6	0.2
	軽乗用	0.0	0.0	8.7	4.3	0.0	13.0	13.0	0.0	8.7	13.0	13.0	17.4	8.7	0.0	0.0
	大型貨物	0.0	1.8	5.3	5.1	5.8	9.8	16.7	19.7	16.1	11.2	5.5	2.6	0.5	0.1	0.0
	軽貨物	1.4	15.1	12.0	8.1	7.1	6.6	9.8	10.8	8.5	7.7	5.5	4.9	1.8	0.6	0.0
	その他（大型貨物、軽貨物以外）	0.7	6.6	7.6	6.0	7.8	8.7	13.6	16.1	13.7	10.1	5.8	2.9	0.5	0.0	0.0
合計	2.7	9.7	8.0	6.8	7.2	7.9	9.6	9.2	7.7	7.0	6.9	8.1	4.9	2.9	1.3	

黄色塗りつぶしは、年齢層別事故割合の上位3つ